

環境科学研究所公開に 出展しました

小学生向け学習用副教材 活用で大盛況

去る7/20に行われた研究所公開で、東京都気候変動適応センターでは、センターで作成した小学生向け学習用副教材を活用したコーナーを設けました。副教材のワークシート1を加工したものを印刷してホワイトボードに貼り、参加者のみなさんには質問に対する回答を書いた付箋を貼り付けてもらいました。想定を上回るたくさんの参加がありました。ほとんどが子どもの参加でしたが、未就学の子どもから副教材の対象である小学校5、6年生くらいの子どものまで、幅広い参加をいただきました。これは、ワークシートを未就学の子どもでも回答しやすいように加工したこと、付箋を貼るというシール貼り同様の達成感が得られる方法を取ったことが功を奏したと思われます。参加している子どもたちの姿を見て、自分もやってみたくて自発的に参加するという好循環が生まれ、景品の有無に関わらず多くのお子さんが参加してくれました。



回答を付箋に記入し、ホワイトボードに貼っていきます。

回答の分析と今後の普及 啓発への活用

「自然災害」「夏の暑さ」という子どもに身近なテーマで、自然災害に備えるにはどうしたらよいか、熱中症を予防するにはどうしたらよいかということを考えて回答してもらいました。ほとんどの回答が適切な対策を挙げており、日頃の学校や保護者等の日頃の防災教育や健康管理指導により、子どもたちに身近な気候変動適応策について正しく認識されていることが表れる結果となりました。今後の気候変動適応に関する普及啓発を進めていくうえでは、正しい情報を総合的に伝えることが東京都気候変動適応センターの重要な役割であると認識することができました。また、付箋を貼る方法は、環境学習を効果的に進められるということがわかりましたので、今後の副教材の活用や、幅広い年齢の子どもが利用できるコンテンツ制作などに活用していきます。



たくさんの回答が貼られました！

暑さ（熱中症）の方が身近な問題だったようで、神をはみ出るほど多くの回答が寄せられました。